

学校通信



四日市市立西朝明中学校

令和6年度 第1号  
令和6年 4月8日(月)

# にしあさけ

**入学・進級 おめでとうございます。**

**令和6年度がスタートします！**

令和6年は3月の下旬の降雪の影響もあり、近年にはめずらしく桜の開花が遅く、西朝明中学校の正門の横にある桜の木も本日の始業式・入学式を待っての満開となりました。

新しい年度のスタートにふさわしい、素晴らしい季節がやってきました。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

新入学生98名の1年生を迎え、2年生に進級した106名、3年生に進級した98名の計302名の生徒と共に、着任した8人を含め、総勢32名の職員も一緒に、本年度も生徒たちとともに『一人ひとりを大切に』する教育の創造をめざし、保護者、地域の皆様とともに、地域とともにある学校として、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新入生の皆さんは、楽しみにしていた西朝明中学校での生活がいよいよ今日から始まります。また、2・3年生の皆さんも、新年度を迎え、新たな思いで今日の日を迎えたことだと思われれます。皆さんの姿からは新たな決意が伝わってきました。今後、個性を活かし、のびのびと活躍する皆さんの姿を見られることがとても楽しみです。

さて、西朝明中学校内には様々な記念碑があります。その石碑に刻まれている言葉が「愛」「誠」「心」です。これらの言葉は西朝明中学校の先輩方からのメッセージだと、始業式・入学式でお話をしました。校庭でこれら

の石碑を見かけたら、今日の決意を思い出し、1年間頑張って進んでいきましょう。



## ♡「心」・「誠」・「愛」♡

始業式・入学式の式辞として校内の記念碑に刻まれている「心」「愛」「誠」の言葉にふれて話をしました。以下はその一部を掲載します。



「心」こころはシンとも読みます。「ものの根本」という意味もあり、本当の自分自身のことだとも読み解けます。中学校を卒業するということは、義務教育を修了するということです。それぞれの進路を切り開く力を身に着けるために、今の自分を見つめ、未来の自分を想像し、自分の可能性を広げていきましょう。

「愛」は仲間を理解し、相手を思いやる気持ちです。「愛」には様々な形がありますが、一方通行ではつらいです。学校には共に歩む仲間がいます。太宰治の「走れメロス」の一節にこういう言葉があります。「信頼に報いなければならぬ」。私は仲間を思い、仲間から思われた私はその思いにこたえる。お互いがお互いのことを尊重し、支えあい、高めあえる仲間となっていくでしょう。



「誠」は嘘偽りのない姿のことです。「お天道様が見ている」という言葉があります。お天道様とは太陽のことです。太陽は地上の全てを照らし、誰も見ていないつもりでも、必ずあなたのことを見ている人がいるという意味です。「徳は孤ならず、必ず隣あり」も同じような意味で、「誠」を尽くし正しい行いをする者の周りには、仲間が現れるものです。

自分自身のことを大切に育み、仲間と共に成長するためにも、誠を尽くす真摯な生き方が求められます。そんな大切なことを、校庭の片隅から語りかけているように感じます。

## ■「保護者の皆様へ」■

西朝明中学校での生徒の皆さんの生活や学習の様子について、できる限り毎日、西朝明中学校のホームページで上げさせていただいています。本年度もたくさん発信をしていく予定ですので、日頃はホームページをご覧いただき、お子さまの様子をご覧いただきたいと考えております。また、令和5年度も学校公開日として授業の様子を参観いただいたり、体育祭・文化祭などの行事で活躍する姿を見ていただいたりする機会を設けました。ただし、本校は駐車場が狭く、グラウンドも降雨時は車が侵入できる状況ではありません。令和6年度も学校公開日等の際には、徒歩または二輪車でのお越しにご協力ください。